



緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
 ～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

後期 1年生も 家庭学習のスタートです！

後期 家庭の家庭学習

月	火	水	木	金
担任	家庭	校長 教頭 教務	家庭	担任
金曜日のがんばりを担任が見ます。		校長から水曜日の分をもらって木曜日の分を担任が見ます。		水曜日のがんばりを担任が見ます。
	月曜日のがんばりを二教師でチェックしてください。		水曜日のがんばりを二教師でチェックしてください。	

水曜日のチェックローテーション

	6年	5年	4年	3年	2年	1年
①	校長	校長	教頭	和彦	美信	和彦
②	美信	校長	校長	教頭	和彦	教頭
③	和彦	美信	校長	校長	教頭	校長
④	教頭	和彦	美信	校長	校長	校長
⑤	校長	教頭	和彦	美信	校長	美信

チェックポイント

- 「家庭」は「きちんと」書かれているか？
- 「日付と時間」が書かれているか？
- 「めあてと振り返り」があるか？
- やり方や注意する「ポイント」をまとめているか？
- 「自分の言葉」で「説明やまとめ」が書かれているか？

☆4. 5. 6年生は 3週間日記を毎日書きます。
 ☆ 2. 3年生は 3行日記を毎日書きます。

一番大事なことは
 自分に必要な勉強 力がつく勉強になっているか？

落ち着いた中で、後期の学習がスタートしています。そして、11月からは、1年生の家庭学習チェックも始まります。

- ①火曜日と木曜日は家庭のチェック日！
【月、水の分を見てください】
- ②「チェックポイント」のチェックと徹底を！

だいぶ協力してくださる家庭が増えています。時間のないときは、サインだけでもお願いします。保護者の皆様にもお願いです。
 “できることはやりましょう”

※次の様子が心配です

- ・スポ少が忙しくて字が粗末な子
- ・チェックポイントを気にかけない子
- ・面倒なので日記をさぼる子

このような取組を通して、面倒なことにもチャレンジする精神や、自分のことを自分でやり遂げる心を育むことは、全ての子どもの“夢”につながるのだと思います。
 だからこそ、小学生の内に、身に付けさせなければならぬと考えています。家庭でも厳しくしつけるべきことのひとつです。家庭でも学校でも、一緒に、“愛を込めて！”厳しくしていきましょう。

「楽しい学校」

ハロウィンパーティー（外国語活動）



今年も、この時期に、佐々木千秋先生との楽しい外国語活動の時間がありました。

左の写真にある服装の千秋先生と、廊下で突然出くわした私は、固まってしまい、千秋先生に叱られてしまいました（反省）。

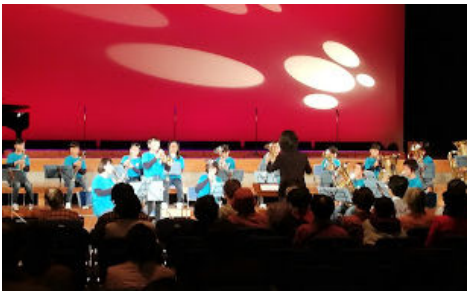
先生は、本物のカボチャで作ったジャック・オー・ランタンもプレゼントしてくださいました。

1. 2年生は、魔女や悪魔、猫にカボチャなど、思い思いの変装を楽しんでいました。中には、サムライやガイコツもいて、楽しく変装についての自己紹介をしたり歌を歌ったりして、外国の文化に触れることができました。



「ふるさとの学校」

～ 史跡の里の秋祭り ～



ふれあい文化センターで、恒例の秋祭りが行われました。たくさんの方々が来場されていて、大いに盛り上がっていました。

シルバーホールには、子どもたちの作品がたくさん展示されていて、地域のみなさんを楽しませていました。「あやあ、うまいごど」「これ、〇〇さんどごの孫だなっ」などと、温かい言葉が流れていました。

それから、ステージでは、本校の器楽部の演奏が披露されました。会場で聞いてくださった方からは、「小學校、あまり上手でびっくりしたんしい」という言葉をかけていただきました。

そんな中、右の写真にあるように、6年生がダンスをする場面がありました。全員が、まじめで恥ずかしがり屋という集まりではないですが、聞く人のためにがんばりました。

実は、「恥ずかしいけどやってみる」ということが、横堀小全体の、特に高学年の大きな課題だと考えています。その意味でも、このダンスにかけた思いとできた経験は大切な宝物になりそうです。

『声をだすこと』も“恥ずかしさへのチャレンジ”。全校でそんな姿を増やしていきたいです。

野球新人戦 全県チャンピオン!

みんなのがんばり紹介

☆第11回秋田県小学校新人野球大会
優勝！ 横堀マイティーンース



すごい！マイティーンースが、ついに！やっぱり！全県優勝を果たしました。決勝も、2点取って2点取られ、0点に抑えられて0点に抑える。本当に、行き詰まる接戦のまま、最終回の裏は1点リードで2アウト3塁からのゲームセットでした。藤倉監督も、選手を信じてスクリイズに4度もチャレンジ！「全県の試合を通して、本当うまくなりました。」とほめてくれた。全員、「いざという場面」を体験し、チームで乗り切ったことは、この大会の財産として全員が部員の心を成長させたものだと思います。保護者の皆さん、本当にお疲れ様でした。おめでとうございます。